

狂言「悪太郎」

- ◆シテ (悪太郎)
- ◆アド (伯父)
- ◆アド (出家)

山本東次郎
山本 則俊
山本凜太郎

能 「黒塚」

- ◆シテ
- ◆ワキ
- ◆ワキツレイ
- ◆アライ
- ◆笛
- ◆小鼓
- ◆大鼓
- ◆太鼓
- ◆後見
- ◆地謡

友枝 昭世
宝生 欣哉
大日 寛重
大山 重輔
栗林 司助
森澤 輔司
大倉 助助
大林 邦生
中村 雄之
粟谷 雄定
香川 定茂
大島 雄一
枝島 雄人
内田 雄信
栗谷 雄也
谷内 雄也
枝田 雄也
佐藤 真也
藤原 陽也

解説:馬場あき子

アフタートーク:

馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世



狂言「悪太郎」撮影/神田佳明

チケット購入のご案内 2月1日(月)発売!

①ホームページから24時間対応

(発売初日は9:30~)

<http://www.artericca-shinyuri.com/>

アルテリッカ



検索

②電話予約

川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2016チケットセンター

電話 044-955-3100 (9:30~17:00)

■主催 公益財団法人川崎市文化財団

■共催 川崎・しんゆり芸術祭2016実行委員会

■お問合せ 川崎・しんゆり芸術祭2016実行委員会事務局 TEL044-952-5024 (9:30~17:00)

③窓口販売 (A、B、C、D、E、F: 地図参照)

A 川崎市アートセンター (9:00~19:30 毎月第2月曜除く)

B 新百合21ホール (9:00~17:00 毎月最終月曜除く)

C マイタウンチケットセンター

(新百合ヶ丘マブレ「写真工房 彩」内 9:00~21:00不定休)

D 昭和音楽大学チケットセンター

(昭和音楽大学南校舎内 10:00~18:00、12:00~13:00及び土・日・祝日除く)

E 昭和音楽大学北校舎 (10:00~17:00 日・祝日を除く)

F (株) プレルーディオ (昭和音楽大学北校舎内 10:00~17:00 土・日・祝日除く)

★お近くのセブンイレブンでも購入いただけます。※座席選択不可



「能と狂言」

人間国宝の競演

友枝昭世と山本東次郎の至芸

平成28年5月3日(火・祝)
開場13時30分 開演14時

川崎市麻生市民館ホール

料金 場公演日
全席指定 SS席 6000円
S席 5000円



能「黒塚」撮影/あびこ写真店



能と狂言 人間国宝の競演 友枝昭世と山本東次郎の至芸

狂言 悪太郎 (あくたろう)

酔っ払っているのに、まだ飲み足りなく思っている悪太郎。伯父から来るよう言っていたことを思い出し、酒を飲ませてもらおうと、伯父の家に向かいます。

大酒を飲んで乱暴をする悪太郎の評判を心配し、彼に意見をする伯父。悪太郎は、伯父の意見を入れて、明日から酒を止めると宣言します。そして、今日を最後にするので、酒を飲ませてほしいと頼みました。もっともなことと思った伯父は、悪太郎に最後の酒を振舞いますが…。

さて、伯父の家からの帰り道、すっかり酔っ払った悪太郎は、道の真ん中で寝込んでしまいました。一方、悪太郎が家まで帰り着けるか、気がかりな伯父。後を追って行くと、道の真ん中で、悪太郎が寝ているではありませんか。腹を立てた伯父は、そこで一計を案じるのですが…。



撮影 / 神田佳明

プロフィール

喜多流 能楽師 友枝 昭世 (ともえだ あきよ)



1940年3月24日 / 肥後熊本・加藤家・細川家の抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
1946年 能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多実室に師事
1978年 第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
1994年 第16回回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
1995年 第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
1996年 「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
2000年 春の紫綬褒章受章
2003年 日本芸術院賞受賞
2004年 伝統文化ボーラ賞大賞受賞
2008年 重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
2011年 日本芸術院会員に就任

山本東次郎 (やまもと とうじろう)



1937年生まれ。狂言方大蔵流・山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会主宰。
1964年 芸術祭奨励賞受賞
1992年 芸術選奨文部大臣賞受賞
1994年 第16回回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
1998年 紫綬褒章受章
2001年 エクソンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞
2007年 日本芸術院賞受賞
2012年 重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
一般財団法人杉並能楽堂理事長

著書

「狂言のすすめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往来社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子 (ばば あきこ)



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多実に入門。新作能の制作も行い、「影媛」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住

能 黒塚 (くろづか)

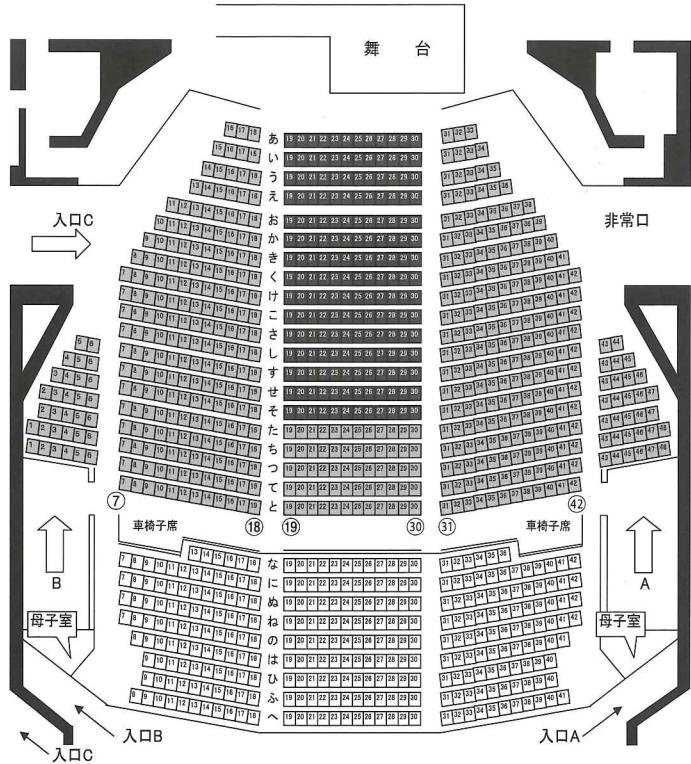
紀州(和歌山県)熊野の山伏、阿闍梨祐慶(ワキ)と同行の山伏(ワキツレ)が諸国行脚の途中、奥州(福島県)安達原に着き、日が暮れたので、野中に見つけた一軒の庵に一夜の宿を乞います。主の女(前シテ)は一度は断るもの、たっての願いに根負けして山伏たちを招き入れると、山伏が見慣れぬ杵棒輪に興味を持つので、女は糸尽くしの唄を謡いながらそれで糸を繰り、我が身の儂さを嘆きます。やがて夜も更け寒さが増すと、女は山へ薪を取りに行くから、帰るまで闇の中を見ないようにと念を押し出かけます。<中入>

能力(アイ)は女の再三の注意をかえって不審に思い、山伏達が寝入った隙を見て、闇を覗いてしまいます。すると、そこには人の死骸が山の様に積まれ、これこそ鬼の住処だと祐慶に告げます。一行は驚いて逃げ出しますが、先程の女が本性を現し、鬼女(後シテ)となって襲いかかってきます。しかし山伏達の必死の祈りに、鬼女はついに祈り伏せられ恨みの声を残して夜嵐とともに消え失せます。



撮影 / あびこ写真店

〈川崎市麻生市民館 ホール座席表〉



SS席 6,000円 S席 5,000円